



駄知小学校

「地域と共に駄知の子を育てる活動」

学校の教育目標 「心みがく子 ～思いやりのある子・よく学ぶ子・たくましい子～」

目指す学校 「笑顔と瞳輝く学校 ～子どもの姿を通して、家庭・地域から信頼される学校～」

駄知小学校では、「心みがく子」を学校の教育目標として、「笑顔と瞳輝く子」を育てたいと考えています。下記のようなさまざまな場面で、学校だけでなく地域の皆さんの力を借りながら、「地域を愛し、地域と共に生きる子」を育てています。

思いやりのある子



学校に隣接するとき陶生苑や恵風荘など、さまざまな施設で交流活動を行っています。この活動を通して、「思いやりのある子」を育てています。

よく学ぶ子



駄知陶磁器工業組合の皆さんの協力の下、PTA主催で行う「陶芸教室」で、焼き物づくりを体験しました。これらの活動を通して、「駄知町の良さ」を学んでします。

たくましい子



駄知町青少年育成会主催の「ふれあいキャンプ」など、地域の中のさまざまな活動を体験し、「たくましく生きる」力を身につけています。



給食センター掲示板

給食センター(☎546195)

「給食がない夏休みには、給食センターの人たちは何をしているの?」と聞かれることがよくあります。給食を作らないから給食センターも休み、ではなく、実は夏休み中も調理員さんたちは働いています。あまり知られていない夏休み中の給食センターの仕事を紹介します!

夏休み中の仕事その①
「給食センターの大掃除」

給食センターには大きな機械がいくつもあります。普段洗うことができない機械を分解して丁寧に洗います。



部品をすべて取り外します。



揚げ物機(フライヤー)の換気扇を洗っています。しっかり油污れを落とします。



焼き物機(オーブン)の中を洗っています。調理員さんたちも真っ黒になりながら、溜まったすすを削り落として洗います。

夏休み中の仕事その②
「食器・食缶磨き」



子どもたちが毎日使う食器や食缶。毎日洗浄機で洗っていますが、人の手で丁寧に磨きます。

食缶を磨いています。食缶は全部で800個以上あります。食器は全部で約2万7千枚もあります。

夏休み中の仕事その③「研修会」

安心・安全でおいしい給食を作るために、調理員さんたちも勉強会をします。手洗い方法の確認や、衛生管理についての講習、学校給食について理解を深めるための講義を受けます。

2学期からもおいしい給食をきちんと子どもたちに届けられるように、夏休みの間も調理員さんたちは頑張って働いています。